



## 水無月

6月に入り、雨の日が多くなってきました。豊かな恵みの元となるために必要な雨ですが、やはり晴れ間が少なくなると、憂鬱な気持ちになります。温暖湿潤気候で比較的雨の多い日本では、昔から雨と付き合い、時には情緒的に雨を楽しんでいたようです。その証拠に日本には、雨を表す言葉が400以上もあるといわれています。「夕立」「五月雨」「時雨」。さらに情緒的な表現では、「天泣（てんきゅう）…雲がないのに小雨が降る、まるで天が泣いているようだ」「遣らずの雨…客人が帰るのを引き留めるかのような雨」などがあります。雨の日を、何も思わずに見るとネガティブになりがちですが、少しでも感性を働かせるだけで世界が違って見えることを教えてもらったような気がします。

## 休日学級 ～賢くなるための日 その5～

6月3日（土）休日学級が行われました。休日学級は①教育講演会、②選書会、③環境美化清掃活動の内容を予定しておりましたが、大雨による影響で①教育講演会、②選書会 の2つが行われました。教育講演会は富士東部建設事務所の河川砂防管理課より講師をお招きし、「土砂災害から身を守る」について動画や模型を使って学ぶことができました。最初、校長より児童に「**今日も賢くなるための学習です。目と耳と心をはたらかせてしっかりと学んでください。**」と話をしました。大雨のあとだったこともあり、講師の説明にいつも以上に真剣に耳を傾けていました。土砂災害の模型の部分では、どのように土石流や土砂崩れが起きるのかビー玉を使って見せてくれました。校長が児童に言ったように、**土石流を表すビー玉が家を動かしていく様子を見て、ビー玉の音の違いにも耳が反応し、沢山のことを学ぶことができました。**保護者の方からも質問が出て、親子と教職員で学びの深い学習会になりました。また、選書会では親子や友だち同士で一緒に本を選ぶ姿が見られました。本を介したコミュニケーションは見ていてとてもよいものだと感じました。

### 《休日学級についての保護者の方々のアンケート内容から》

- ・保護者も教育行事に参加する取り組みはとても良いと思いました。
- ・模型を用いて、実際に土砂崩れが起こる様子を目の前で見て実際に起こったらと考えるよい機会になりました。その後、子どもと話をしました。
- ・丹波山村で生きていくために学ぶべきよい機会になった。



# 交通安全教室

5月16日（火）に交通安全教室を行いました。  
今年も丹波山駐在所，上野原警察署から警察の方をお招きして，1・2年生は歩行練習，3～6年生は自転車の整備や乗り方について学びました。練習した後に公道でも「右みて，左みて，右みて」と声をそろえて手を挙げ渡っていました。交通安全教室で「命の守り方」を学びました。この学んだことを毎日の登下校をはじめ，普段の生活の中にもいかしていきましょう。



## 青葉給食がありました



楽しみにしていた青葉給食は食べる寸前で雨がポツポツ。急いで食堂で食べる形になりました。それでも児童は普段とは違った形で給食が食べられることに大喜び。各自持ってきたレジャーシートを敷き，おいしそうに，そして，楽しく食べました。お弁当もその季節を感じさせるメニューでした。

## 日々の実践から ～保健指導・食育指導～

丹波小学校の特色ある取り組みに保健指導・食育指導があります。それぞれ宮沢養護教諭，奥秋日香里栄養教諭が計画し，工夫して楽しく学べる時間になっています。保健指導は「自分の健康課題を知り，健康に関心を持ち，自ら進んで健康で安全な生活が送れる」ことを目標としています。自分の体（目・歯・耳等）や心の成長，季節毎の健康管理（熱中症，感染症予防等），行事等に合わせた事前事後指導（校外学習，臨海学校，修学旅行等）等様々な内容を取り上げています。



食育指導は「食事の重要性や楽しさ，マナー，食物の栄養や安全性，地域の産物，食文化を学び，食生活の管理や判断能力を身につける」ことを目標としています。給食の献立や食材・栄養素，マナー，健康や季節（旬）との関わりについても学んでいます。希望献立やセレクト給食など，食を通して健やかに楽しく，学びがたくさんです。

# ささら獅子舞学習会

5月18日（木）丹波山村文化財保存会の方々（酒井隆幸さん、嶋崎竜馬さん）をお招きして小中合同による「ささら獅子舞学習会」が行われました。

1661年から続くささら獅子舞。青梅の沢井村の人と丹波山村の人が結婚したこと、沢井村で獅子舞が継続できなくなったことなどがきっかけとなり、丹波山村で獅子舞をすることになったと

という歴史的な話や丹波山村の村民の健康安全や五穀豊穡を願い始まったという由来についても教えていただきました。ささら獅子舞は、山梨県の無形民俗文化財に指定されているそう

です。そのように貴重な伝統芸能に関わることができる丹波山村の子どもたちは、とても幸せだと思います。その後、子どもたちも実際に獅子舞をかぶったり、衣装を身にまとうことをさせてもらい大興奮。これから始まるしの笛の練習にもつながるよい学習会となりました。

酒井さん、嶋崎さん、子どもたちに大切な文化を伝えてくださって、ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。



## アンネのばら、今年も咲きました！



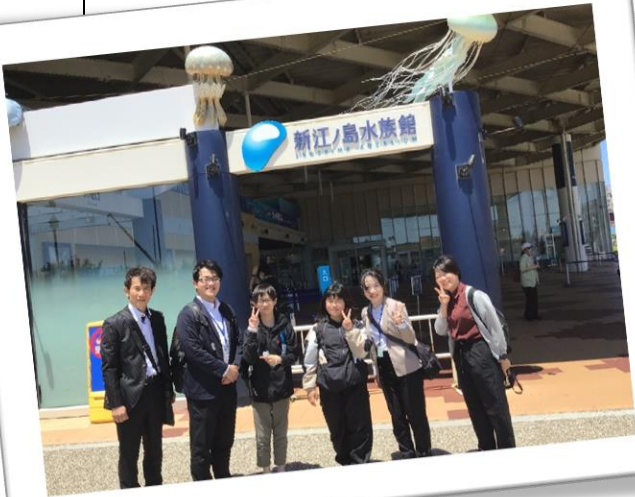
この花の名前は「アンネの薔薇」です。なぜ、「アンネの薔薇」というか？それは、第二次世界大戦中に強制収容所で15歳という短い生涯を終えた「アンネ・フランク」の形見の薔薇だからです。アンネの父が自由と平和を願うアンネの心を薔薇に託し、世界中の人々に贈ったものです。本校には廣瀬俊之さんから寄贈していただき毎年咲いています。橙、黄、黄金色に変化するこの花は、国際紛争が続く今、改めて自由と平和の意味について考え、行動することの大切さについて私たちに問いかけているようです。

# 修学旅行に行ってきました！

5月24日～26日まで5・6年生が修学旅行に行ってきました。1日目は江の島、鎌倉に行き、きれいな海を眺め、海の生物と過ごしました。2日目は東京都内にある国会議事堂、防災館やスカイツリーに行きました。防災館では、暴風雨や大地震の体験をしました。

スカイツリーをバックに記念撮影。

3日目はディズニーランド。40周年という記念すべき年に修学旅行でディズニーに行くことができたこと、一生に一度の思い出です。



修学旅行はどれもみんな思い出に残っています。その中でスカイツリーはエレベーターに乗って上に行ったときにあまりに高すぎて怖かったです。

僕は、修学旅行はすべて楽しかったけれど、特にディズニーでジャングルクルーズが冒険に出た気分になって一番楽しかったです。僕たちのためにたくさんの人が関わってくれて感謝しています。



